

TERG

Discussion Paper No.333

新産業と生活向上等のためのパーソナルデータの
利活用に関するアンケート調査結果

〈基本集計結果〉

吉田 浩

Hiroshi YOSHIDA

井深 陽子

Yoko IBUKA

陳 鳳明

Fengming CHEN

2015.4.10

TOHOKU ECONOMICS RESEARCH GROUP

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS AND
MANAGEMENT TOHOKU UNIVERSITY
27-1 KAWAUCHI, AOBA-KU, SENDAI,
980-8576 JAPAN

新産業と生活向上等のためのパーソナルデータの利活用 に対する人々の意識に関するアンケート調査*

(基本集計結果)

吉田 浩[†]
Hiroshi YOSHIDA
井深 陽子[‡]
Yoko IBUKA
陳 鳳明[§]
Fengming CHEN[§]

2015. 04. 10

概 要

本調査の目的は、民間事業者や行政機関等による一般個人情報（パーソナルデータ）および個人健康情報の利用およびその情報にもとづく健康プロモーションサービスに関して、個人がどのような意識を持っているのかを明らかにすることである。

本調査では、「新産業と生活向上のためのパーソナルデータの利活用に対する人々の意識に関するアンケート調査」と題し、全国の20歳から64歳までの1030人から回答を得た。調査項目は、個人情報への関心、パーソナルデータ利活用に関する政府提案への意見、企業や行政の個人情報の取り扱いに関する意見、健康情報サービスに対する意見等である。

調査は、東北大学大学院経済学研究科の研究倫理審査委員会の承認をうけ、2015年3月25日から3月26日にかけてインターネットの調査会社への委託により当該モニター会員を対象として行われた。

*本稿のもとになった研究に対し、東北大学の革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）「さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する理想自己と家族の絆が導くモチベーション向上社会創生拠点」による助成を受けた。

[†]東北大学大学院経済学研究科 教授 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1, Email: hyoshida@econ.tohoku.ac.jp

[‡]東北大学大学院経済学研究科 准教授 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1, Email: ibuka@econ.tohoku.ac.jp

[§]東北大学大学院経済学研究 博士後期課程 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1, Email: cfmdbdx@gmail.com

新産業と生活向上等のためのパーソナルデータの利活用 に対する人々の意識に関するアンケート調査

1. 全体集計

I. 一般データの個人情報の状況

Q1. 一般的に個人情報の保護の問題について、あなたは、どの程度の関心をお持ちですか。この中からあなたのお気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。（単一回答）

表1 個人情報の保護の問題についての関心

選択肢	回答数	%
1. 関心がある	185	18.0
2. まあ関心がある	544	52.8
3. あまり関心がない	208	20.2
4. ほとんど（全く）関心がない	49	4.8
5. どちらとも言えない	33	3.2
6. わからない	11	1.1
全体	1030	100.0

Q2. あなたは、現在検討されている「パーソナルデータの利活用に関する制度改正※」について知っていますか。※政府の成長戦略において、特に利用価値が高いとされるパーソナルデータについて、事業者の「利活用の壁」を取り払い、これまでと同様に個人の権利利益の侵害を未然に防止し個人情報及びプライバシーの保護を図りつつ、新産業・新サービスの創出と国民の安全・安心の向上等のための利活用を実現する環境整備を行うことです。（単一回答）

表2 パーソナルデータの利活用に関する制度改正

選択肢	回答数	%
1. 知っている	202	19.6
2. 知らない	828	80.4
全体	1030	100.0

Q3. 名前や住所などを削除して個人が特定される可能性を低減したデータに関し、あらかじめ本人の同意がなくとも、事業者が第三者に提供できる制度についてどう思いますか。（単一回答）

表3 個人が特定される可能性を低減したデータの第三者提供

選択肢	回答数	%
1. 個人が特定される可能性を低減したデータならばかまわない	109	10.6
2. 個人が特定される可能性を低減したデータでも、提供可能なものと制限のあるもの（健康情報など）を区分した方がよい	244	23.7
3. 個人が特定される可能性を低減したデータであっても、第三者に提供される場合は全て本人の同意を必要とするべきだ	380	36.9
4. 個人が特定される可能性を低減したデータであっても、第三者に提供は一切許されない	162	15.7
5. わからない・どちらともいえない	135	13.1
全体	1030	100.0

Q4. グローバル化に対応して、場合によっては日本の事業者が既に持っているパーソナルデータを海外の事業者へ提供して利用したり、海外の事業者が国内でパーソナルデータを収集して利用したりすることについてどう思われますか？（単一回答）

表4 海外事業者への個人情報提供

選択肢	回答数	%
1. 国内の事業者に適用されるルールと同じ基準ならば海外事業者の利用等はおかまわぬ	92	8.9
2. 国内の事業者に適用されるルールと同じ基準であっても、海外事業者の利用可能なものと制限のあるもの（健康情報など）を区分した方がよい	177	17.2
3. 国内の事業者に適用されるルールと同じ基準であっても、海外の事業者へ提供される場合等は全て本人の同意を必要とするべきだ	377	36.6
4. 国内の事業者に適用されるルールと同じ基準であっても、海外事業者への提供・利用等は一切許されない	232	22.5
5. わからない・どちらともいえない	152	14.8
全体	1030	100.0

Q5. 民間事業者や行政機関は、いろいろな個人情報を取り扱っていますが、あなたは以下のことについて不安を感じることがありますか。（複数回答）

表5 民間事業者や行政機関の個人情報管理

選択肢	回答数	%
1. 安全管理が十分でないため、自分の個人情報が漏れているのではないかと	532	51.7
2. 自分の個人情報が自分の予期しない目的で利用されているのではないかと	560	54.4
3. 自分の個人情報が知らないうちに他人へ提供されているのではないかと	578	56.1
4. 自分の知らない間に個人情報が集められているのではないかと	452	43.9
5. 上記のことについて不安を感じることはない	86	8.3
全体	1030	100.0

Q6. 他人に知られたくない個人情報としていろいろあると思いますが、あなたがこの中で他人に知られたくないものはありますか。（複数回答）

表6 他人に知られたくない個人情報

選択肢	回答数	%
1. 現住所、電話番号	805	78.2
2. メールアドレス	645	62.6
3. 出生地	247	24.0
4. 生年月日、年齢	493	47.9
5. 家族構成、結婚歴、離婚歴など	640	62.1
6. 学歴、職歴など	465	45.1
7. 職種、地位、団体加入の有無など	386	37.5
8. 年間収入、財産状態、納税額など	763	74.1
9. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無	504	48.9
10. 銀行口座番号、クレジットカード番号、取引履歴	901	87.5
11. 電話や電子メールなどの通信記録	677	65.7
12. 病歴、身体の障害など	464	45.0
13. 支持政党、宗教などの主義信条	219	21.3
14. 顔写真などの画像	739	71.7
15. その他	9	0.9
16. 特にない	13	1.3
17. わからない	15	1.5
全体	1030	100.0

Q7. 銀行、保険会社、クレジット（信用販売）会社、医療機関などの民間事業者がコンピュータを利用して個人情報を取り扱っています。あなたは、こうした事業者は、コンピュータで処理する個人情報の保護について、どの程度配慮していると思いますか。以下の中から1つだけお答えください。（単一回答）

表7 民間事業者の個人情報法保護配慮

選択肢	回答数	%
1. 十分配慮していると思う	96	9.3
2. ある程度配慮していると思う	579	56.2
3. あまり配慮していないと思う	225	21.8
4. ほとんど（全く）配慮していないと思う	47	4.6
5. わからない	83	8.1
全体	1030	100.0

Q8. あなたは、地方公共団体が保有する高齢者や障害者の情報を、防災や防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。以下の中から1つだけお答えください。（単一回答）

表8 防災・防犯のための地方公共団体が保有する高齢者や障害者の情報利用

選択肢	回答数	%
1. 防災、防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき	121	11.7
2. 防災、防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい	658	63.9
3. 防災、防犯のためであっても、個人情報を共有・活用しない方がよい	152	14.8
4. わからない	99	9.6
全体	1030	100.0

Q9. あなたは、最近、自分の個人情報が漏れたり、同意していないのに他人に提供されたといったように、ご自分の個人情報を不適正に取り扱われたと感じたことはありますか。（複数回答）

表9 個人情報侵害の経験

選択肢	回答数	%
1. 行政機関から不適正な取扱いを受けたことがある	32	3.1
2. 民間の事業者から不適正な取扱いを受けたことがある	352	34.2
3. 不適正な取扱いを受けたことはない	447	43.4
4. わからない	214	20.8
全体	1030	100.0

Q10. 個人情報の利活用はサービスの向上につながる一方、個人情報が漏れる恐れもありますが、あなたは自分の個人情報を民間事業者に提供して、サービスを受けることを、どのようにお考えですか。この中から1つだけお答えください。（単一回答）

表10 民間事業者への個人情報の提供

選択肢	回答数	%
1. よりよいサービスを受けるため、自分の個人情報を提供することに特に抵抗はない	51	5.0
2. よりよいサービスを受けたいと思うが、自分の個人情報の提供は信頼できる事業者かどうか見極めた上で慎重に行う	637	61.8
3. 個人情報が漏れる恐れがあるので、原則として自分の個人情報は提供しない	239	23.2
4. その他	1	0.1
5. わからない	102	9.9
全体	1030	100.0

Q11. 個人情報の取扱いに特に気をつけてほしいと思う事業分野は次のうちどれですか。（複数回答）

表 11 個人情報への取扱いに注意すべき事業分野

選択肢	回答数	%
1. 病院、介護施設など（医療福祉関連分野）	627	60.9
2. 銀行、消費者金融、クレジット会社、保険会社など（金融信用関連分野）	878	85.2
3. 電話会社、インターネット接続会社、放送事業者など（情報通信関連分野）	725	70.4
4. 通信販売関連分野	512	49.7
5. 百貨店、量販店など（店舗型の小売関連分野）	256	24.9
6. 電気、ガス、水道関連分野	306	29.7
7. 学校、学習塾など（教育関連分野）	376	36.5
8. 職業紹介、人材派遣関連分野	339	32.9
9. ホテル・旅館、旅行会社など（旅行・宿泊関連分野）	275	26.7
10. 不動産の取引、賃貸、管理など（不動産関連分野）	407	39.5
11. 家電、自動車など（製造関連分野）	202	19.6
12. 宅配、運送関連分野	365	35.4
13. 国の行政機関、地方公共団体など	550	53.4
14. その他	10	1.0
15. 特にない	32	3.1
16. わからない	41	4.0
全体	1030	100.0

Q12. あなたが、今後、民間事業者に取り組んでもらいたい個人情報保護のための対策は何ですか。（複数回答）

表 12 個人情報保護のための対策

選択肢	回答数	%
1. 個人情報が漏れることがないように、管理を徹底する	774	75.1
2. 個人情報保護に関する考え方や方針（プライバシーポリシー）を積極的に公表する	367	35.6
3. 個人情報の利用目的をなるべく限定する	550	53.4
4. 本人から、自分の情報の取得元を明らかにするよう求められた場合には、これに応じる	462	44.9
5. 本人から、自分の情報について利用の停止や消去を求められた場合には、これに応じる	497	48.3
6. 本人から特に求められなくても、利用が終わった個人情報は速やかに消去する	523	50.8
7. 個人情報の相談窓口において、きちんとした対応を行う	311	30.2
8. その他	9	0.9
9. 特にない	36	3.5
10. わからない	41	4.0
全体	1030	100.0

Q13. 民間事業者からの個人情報漏れる事案がある一方、例えば大規模災害のような緊急時に必要とされる個人情報の提供までが行われなかったり、学校や地域社会の緊急連絡網の名簿の作成が中止されるといったように、「過剰反応」と言われる状況も一部に見られます。あなたは、今後、国や地方公共団体は、個人情報保護について、どのような方向で取り組んでいくべきだと思いますか。この中からあなたのお考えに最も近いものを1つだけお答えください。（単一回答）

表 13 今後の個人情報についての取り組みの方向性

選択肢	回答数	%
1. これまで以上に個人情報の取扱いを厳しく規制すべき	329	31.9
2. 民間事業者の義務を緩和すべき	50	4.9
3. 規制を厳しくする分野と緩和する分野の両面があってもよい	503	48.8
4. 現状のままでよい	49	4.8
5. わからない	99	9.6
全体	1030	100.0

II. 健康データの個人情報状況

Q14. あなたの健康に関する情報（身長・体重、血圧、各種検査結果、ゲノム（DNA）情報などの身体的情報、及び運動量、食事や服薬の記録などの行動記録）を長期間にわたって一括で管理し、その情報をもとに定期的または必要に応じてあなた自身の健康管理のためのアドバイスをくれるサービスがあるとします。このサービスを利用するにあたり、あなたの側の手間は一切無とします。あなたはこのようなサービスを利用したいと思いますか。（単一回答）

表 14 健康サービスの利用希望

選択肢	回答数	%
1. はい	239	23.2
2. いいえ	401	38.9
3. どちらともいえない	390	37.9
全体	1030	100.0

Q15. あなたは前問のようなサービスが提供された場合に、最も利用したいと思えるサービスを一つ選んでください。（単一回答）

表 15 最も利用したいと思う健康情報サービス

選択肢	回答数	%
1. 健康状態について、定期的に教えてくれるサービス	114	47.7
2. 健康状態に変化があった時のみ、その事実を教えてくれるサービス	67	28.0
3. 食事内容についての改善を指導してくれるサービス	18	7.5
4. 運動について、必要な運動量や運動内容を教えてくれるサービス	33	13.8
5. 服薬を忘れないように指導してくれるサービス	6	2.5
6. その他（具体的に）	1	0.4
全体	239	100.0

Q16. 前問のようなサービスを利用するために月々最大いくらを支払ってもよいと思いますか。(単一回答)

表 16 健康情報サービスの支払い意志金額

選択肢	回答数	%
1. 500 円程度まで	71	29.7
2. 1000 円程度まで	46	19.2
3. 3000 円程度まで	15	6.3
4. 5000 円程度まで	4	1.7
5. 1 万円程度まで	0	0.0
6. 2 万円程度まで	0	0.0
7. 2 万円以上	0	0.0
8. 無償(0 円)の時のみ利用する	96	40.2
9. どれともいえない・わからない	7	2.9
全体	239	100.0

Q17. 自分の健康等の情報を提供した場合に、健康関連情報サービスが提供されるのではなく、情報そのものの提供に対して報酬が支払われるのであれば、毎月いくら支払われるなら、自身の健康に関する情報を提供してもよいとお考えですか。（単一回答）

表 17 自己健康情報提供に対する対価

選択肢	回答数	%
1. 500 円程度まででよい	88	8.5
2. 1000 円程度まででよい	100	9.7
3. 3000 円程度まででよい	70	6.8
4. 5000 円程度まででよい	52	5.0
5. 1 万円程度まででよい	87	8.4
6. 2 万円まででよい	14	1.4
7. 2 万円以上ならよい	116	11.3
8. どんなに報酬を受け取っても提供したくない	254	24.7
9. どれともいえない・わからない	249	24.2
全体	1030	100.0

Q18. あなたが先程のようなサービスのために提供したい、またはしてもよいと考える情報は次のどれですか。（複数回答）

表 18 提供しても良い自己の健康情報

選択肢	回答数	%
1. 身長・体重	445	84.4
2. 血圧	415	78.7
3. 各種検査結果	275	52.2
4. ゲノム（DNA）情報	139	26.4
5. 運動記録	290	55.0
6. 食事記録	286	54.3
7. 服薬記録	236	44.8
8. その他	4	0.8
全体	527	100.0

Q19. あなたは昨年1年間（2014年1月～2015年2月）に「健康診断」または「人間ドック」をうけましたか。※病気の症状があり、治療のために行った検診は除きます。（単一回答）

表 19 「健康診断」または「人間ドック」を受けた状況

選択肢	回答数	%
1. はい	476	46.2
2. いいえ	537	52.1
3. 覚えていない	17	1.7
全体	1030	100.0

Q20. あなたは現在、以下の運動または食事等に関する記録を毎日か、それに近い頻度でつけていますか。
(複数回答)

表 20 運動また食事等に関する記録

選択肢	回答数	%
1. 体重	237	23.0
2. 運動の内容や時間	73	7.1
3. 運動によるカロリーまたはE x 量	40	3.9
4. 食事の内容	82	8.0
5. 食事のカロリー	40	3.9
6. 上記の記録はまったくつけていない／毎日かそれに近い頻度ではつけていない	734	71.3
全体	1030	100.0

Q21. あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまるものを1つ回答してください。(単一回答)

表 21 現在の健康状態

選択肢	回答数	%
1. とてもよい	52	5.0
2. よい	236	22.9
3. まあよい	571	55.4
4. 悪い	115	11.2
5. とても悪い	27	2.6
6. わからない	29	2.8
全体	1030	100.0

Ⅲ. 回答者属性(会員登録基本情報ベース)

表 22 性別

選択肢	回答数	%
1. 男性	437	42.4
2. 女性	593	57.6
全体	1030	100.0

表 23 年齢

	回答数	%
1. 12才未満	0	0.0
2. 12才～19才	0	0.0
3. 20才～24才	83	8.1
4. 25才～29才	101	9.8
5. 30才～34才	139	13.5
6. 35才～39才	144	14.0
7. 40才～44才	172	16.7
8. 45才～49才	140	13.6
9. 50才～54才	119	11.6
10. 55才～59才	80	7.8
11. 60才以上	52	5.0
全体	1030	100.0

表 24 地域

選択肢	回答数	%
1. 北海道	49	4.8
2. 東北地方	58	5.6
3. 関東地方	397	38.5
4. 中部地方	153	14.9
5. 近畿地方	191	18.5
6. 中国地方	67	6.5
7. 四国地方	27	2.6
8. 九州地方	88	8.5
全体	1030	100.0

表 25 婚姻状況

	回答数	%
1. 未婚	416	40.4
2. 既婚	614	59.6
全体	1030	100.0

表 26 子どもの有無

選択肢	回答数	%
1. 子供なし	511	49.6
2. 子供あり	519	50.4
全体	1030	100.0

表 27 世帯年収

選択肢	回答数	%
1. 200 万未満	73	7.1
2. 200～400 万未満	203	19.7
3. 400～600 万未満	259	25.1
4. 600～800 万未満	137	13.3
5. 800～1000 万未満	71	6.9
6. 1000～1200 万未満	43	4.2
7. 1200～1500 万未満	18	1.7
8. 1500～2000 万未満	11	1.1
9. 2000 万円以上	9	0.9
10. わからない	95	9.2
無回答	111	10.8
全体	1030	100.0

表 28 個人年収

選択肢	回答数	%
1. 200 万未満	402	39.0
2. 200～400 万未満	219	21.3
3. 400～600 万未満	137	13.3
4. 600～800 万未満	55	5.3
5. 800～1000 万未満	27	2.6
6. 1000～1200 万未満	8	0.8
7. 1200～1500 万未満	4	0.4
8. 1500～2000 万未満	3	0.3
9. 2000 万円以上	4	0.4
10. わからない	57	5.5
無回答	114	11.1
全体	1030	100.0

表 29 職業

	回答数	%
1. 公務員	41	4.0
2. 経営者・役員	11	1.1
3. 会社員(事務系)	164	15.9
4. 会社員(技術系)	115	11.2
5. 会社員(その他)	125	12.1
6. 自営業	57	5.5
7. 自由業	12	1.2
8. 専業主婦(主夫)	192	18.6
9. パート・アルバイト	167	16.2
10. 学生	38	3.7
11. その他	35	3.4
12. 無職	73	7.1
全体	1030	100.0

表 30 現在の在学

	回答数	%
1. 小学生	0	0.0
2. 中学生	0	0.0
3. 高校卒・高専卒	1	2.6
4. 専門学校卒	3	7.9
5. 短大卒	1	2.6
6. 大学卒	28	73.7
7. 大学院卒	5	13.2
8. その他	0	0.0
全体	38	100.0

新産業と生活向上等のためのパーソナルデータの利活用
に対する人々の意識に関するアンケート調査
調査票

Q1. 一般的に個人情報の保護の問題について、あなたは、どの程度の関心をお持ちですか。この中からあなたのお気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

1. 関心がある
2. まあ関心がある
3. あまり関心がない
4. ほとんど（全く）関心がない
5. どちらとも言えない
6. わからない

Q2. あなたは、現在検討されている「パーソナルデータの利活用に関する制度改正※」について知っていますか。※政府の成長戦略において、特に利用価値が高いとされるパーソナルデータについて、事業者の「利活用の壁」を取り払い、これまでと同様に個人の権利利益の侵害を未然に防止し 個人情報及びプライバシーの保護を図りつつ、新産業・新サービスの創出と 国民の安全・安心の向上等のための利活用を実現する環境整備を行うことです。

1. 知っている
2. 知らない

Q3. 名前や住所などを削除して個人が特定される可能性を低減したデータに関し、あらかじめ本人の同意がなくとも、事業者が第三者に提供できる制度についてどう思いますか。1. 個人が特定される可能性を低減したデータならばかまわない

2. 個人が特定される可能性を低減したデータでも、提供可能なものと制限のあるもの（健康情報など）を区分した方がよい
3. 個人が特定される可能性を低減したデータであっても、第三者に提供される場合は全て本人の同意を必要とするべきだ
4. 個人が特定される可能性を低減したデータであっても、第三者に提供は一切許されない
5. わからない・どちらともいえない

Q21. あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまるものを1つ回答してください。

1. とてもよい
2. よい
3. まあよい
4. 悪い
5. とても悪い
6. わからない